



学力調査の結果について

本年度4月に、小学校6年生を対象に実施されました『全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）』と4年生と6年生対象の『石川県基礎学力調査』の結果が公表されましたので、お知らせします。

児童は、日頃の学習の成果を発揮すべく学力調査に臨みました。その結果をふまえ、学習指導のさらなる改善・充実に活かし、『感動や発見の喜びを感じる子』の育成にむけて努力したいと考えています。

各ご家庭でも、お子さんが学習をしている際に、次のことを参考に見守っていただけるとよいかと思えます。ご協力よろしくお願ひします。

1 全国学力・学習状況調査（6年）の結果から 県平均との比較

国語	やや上回る	算数	上回る
----	-------	----	-----

2 石川県基礎学力調査の結果から 県平均との比較（4年生は国語・算数 6年生は社会・理科）

国語（4年生）	下回る	算数（4年生）	やや下回る
社会（6年生）	上回る	理科（6年生）	上回る

3 課題と改善策

（1）課題（力を伸ばしていきたいところ）

＜国語＞・資料から目的は何かをとらえること。

- ・漢字を正しく書いたり、読んだりすること。
- ・目的に応じて質問を工夫すること。
- ・聞き手を意識して話すこと。

＜算数＞・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすこと。

- ・複数のグラフから資料の特徴や傾向を読み取り、関連づけて判断すること。
- ・指定された条件を満たし、かつ自身の言葉で説明すること。

＜理科＞・実験の結果を理解すること。

- ・結果をもとに考察を行うこと。

＜社会＞・グラフ、表を適切に読み取ること。

- ・複数の資料から読み取り、資料の言葉を引用して説明すること。

（2）改善策

＜共通＞・大切なところに線を引いたり、○で囲んだりすることを身につけさせる。

- ・結論、根拠、理由（考え）の話し方をもとに、正しく書くトレーニングをする。

- ・条件にあわせて書く、自分で考えて書く練習を続けていく。
- ・学習用語をしっかりと使わせ、定着させていく。
- ・普段から習った漢字は必ず使って書かせる。
- ・国語辞典を使わせ語彙を増やすことをさせていく。
- ・丁寧な字を書かせていく。

〈国語〉・資料などを使って話すときには、聞き手を意識した間の取り方を身につけさせる。
 ・読み取りの際、主語を意識させ、誰（何）の話なのかを明確にすることで、読むべき場所を見つけさせる。
 ・接続詞を手がかりに、話し手の意図

〈算数〉・理由や根拠を明らかにしながら、考えや式、図、学習用語を使って書くことができるようにする。

〈理科〉・活用問題に日常生活につながるものを設定し、取り組ませる。
 ・予想から、実験をすると、どのような結果になるのかを考えさせる。
 ・考察の話型を提示し、それに合わせて説明させる。
 ・結果から考察、新たな疑問、実験方法の流れの単元を構成し、考え方を習得させる。

〈社会〉・資料の読み取りは、タイトル（表題）を読むことから始めることを徹底させる。
 ・複数資料の読み取りについて、対象は何か、資料のどこを見るか、変化の関連性はどこにあるのかなどを意識させて読みとらせたり、説明させたりする。



2 質問紙調査から

(1) よいところ

- ・「学校が好きである」
- ・「自分の考えを発表したり、話し合ったりすることが好きである」

(2) 課題（改善が必要なところ）

- ・「わからなかったことをもう一度勉強しなおす」
- ・「教科書に出ていないことやもっと詳しいことを勉強することが好きである」
- ・ゲームに費やす時間が多い傾向にある。



(3) 改善策

- ・直しの徹底を図る。
- ・自学ノートの中で授業中に間違った問題や発展的な内容を扱ったものを取り上げ、褒め、他に広めていく。
- ・テレビ視聴やゲームの時間について家庭内ルールを設定するよう働きかける。（計画性があると自制心も働く）
- ・家庭学習の課題について工夫する。また、学びの楽しさ、向上心を持たせるため、宿題、自学等の課題を工夫する。